

# ローカル5Gを活用した「安心・安全」なイベント開催の実証実験について

「イノベーション都市・横浜」を推進する横浜市では、企業や大学、スタートアップなどのオープンイノベーションにより、社会課題の解決を目指しています。

民間企業等と横浜市により構成する「横浜みなとみらい 21 地区ローカル5G実証コンソーシアム※」はローカル5Gを活用した「安全・安心」なイベント開催の実証実験をパシフィコ横浜で開催されるイベント「お城 EXP02021」にて実施します。

※ 株式会社野村総合研究所、株式会社 JTOWER、NEC ネットエスアイ株式会社、総合警備保障株式会社、ヤマハ株式会社、株式会社横浜国際平和会議場、横浜市、一般社団法人横浜みなとみらい 21 の 8 者で構成される共同事業体で、ローカル5G等を活用した地域課題解決モデルを構築する総務省「令和3年度課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」において、「大型複合国際会議施設におけるポストコロナを見据えた遠隔監視等による安心・安全なイベントの開催」の実証事業企画を提案し、2021年8月31日に採択されました。

## 1. 実証実験の期間と場所

- イベント名称：お城 EXP0 2021 (<http://www.shiroexpo.jp/>)  
 期 間：令和3年12月18日(土) 9:00~18:00、12月19日(日) 9:00~17:00  
 場 所：パシフィコ横浜ノース 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-2

## 2. 実証実験の内容

ポストコロナ時代の大型施設でのイベント開催においては、警備品質の向上と効率化、感染予防対策の実施、イベントのハイブリット化等の課題があります。ローカル5Gを活用することで課題を解決し、ポストコロナ時代における、来訪者・施設管理者・主催者・出展者にとって安全・安心なイベントの開催を実現します。

### 遠隔ロボット監視システム

- 遠隔探縦、遠隔監視により、警備品質の向上と効率化を実現
- さらに混雑検知システムと連携し、自動走行と混雑アナウンスを行うことで利用シーンの拡大を図る



### 混雑検知システム

- 会場内での混雑検知や来場者への通知、分散促進を簡易な機器で実施できる
- 施設管理者は人数管理をでき、開催側に来場者の属性情報等の価値提供ができる



### 遠隔同期演奏システム

- 遠隔での同時演奏を同期させることで、遠隔にいるアーティストとのセッションを実現させる
- 飛沫の飛散が懸念されるボーカルのみ別会場とする感染対策を講じ、イベントを開催できる



## 3. 取材について

ご希望の場合は、代表機関である株式会社野村総合研究所コーポレートコミュニケーション部の担当 玉岡 (メール：[kouhou@nri.co.jp](mailto:kouhou@nri.co.jp) 電話：03-5877-7100) までご連絡ください。

### お問合せ先

(DXの推進に関して) デジタル統括本部企画調整課長	笹原 務	Tel 045-671-2131
(「イノベーション都市・横浜」に関して) 経済局新産業創造課長	高木 秀昭	Tel 045-671-3913
(実証実験に関して) 株式会社野村総合研究所 社会システムコンサルティング部	毛利・井上	メール <a href="mailto:toshi5g2020@nri.co.jp">toshi5g2020@nri.co.jp</a>

※ 本件は(株)野村総合研究所、NEC ネットエスアイ(株)、総合警備保障(株)、(株)横浜国際平和会議場、(株)JTOWER と同時発表しています。

※ 本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。